

1 人権尊重を基盤とした学校づくり —学校教育の重点—

自分らしさを発揮し、共に生きていこうとする子どもの育成

人権についての正しい理解と認識を深める学びの充実

- 差別の不合理性について認識を深め、人権獲得の歴史と差別と闘ってきた人々の生きざまを学ぶ人権学習を充実させる
- 身の回りの課題解決に向けた実践的態度を培い、さまざまな人権問題の学びへと発展させる

子どもの感性や人権感覚を育む人権教育の深化

- 参加・協力・体験的な学習の充実を図るとともに、自尊感情を高め、自他を大切にする豊かな感性や人権感覚を育む取組を進める
- 人と人が豊かに関わり、多様性が認められ、自分らしさを発揮することのできる仲間づくりを進める

教職員の人権感覚・指導力の向上

○日常的に人権感覚を磨き合う教職員集団

○教職員人権研修の充実

人権を尊重する生き方のロールモデルとなる教職員

- ・児童生徒が自発的・主体的に自らを発達させていくことを尊重し、その発達の過程を支える教職員（子どもを見るまなざし、声のかけ方、気持ちや意見の受け止め方）
- ・自身が受け入れられていると感じることのできる物的・人的環境の整備（安心・安全に過ごせる場づくり、居場所としての学校・学級づくり）

★人権研修資料の例



「人権の視点から子どもへの関わりを振り返る」



「子どもの声を聴く」



「多様な子どもを支えるために」



「誰もが安心して暮らせる社会をめざして」



「気づき つながり 行動する人権・部落問題学習」教材集



「人権教育推進プラン」

子どもの自己実現を図るための連携の強化

- 困難な状況にある子どもの生活と学ぶ意欲を支える取組を進める
- 課題や取組の方向性を学校・園・所、関係機関、家庭、地域社会で共有し、支援体制の充実を図る

2 人権尊重と共生の社会づくり —関係機関・団体等との協働—

すべての人にとって住みやすい社会の形成

○多様な学習機会の提供

- ・滋賀県人権教育研究大会（高島大会）の充実および、関係機関との連携の強化
- ・各種学習会開催に向けた支援

○課題解決に向けた取組

- ・地域総合センター等の活動支援
- ・新規学卒者の公正採用にかかる取組